

苫小牧市企業インターンシップ受入支援事業企画運営業務
審査要領

令和 8 年 1 月

苫小牧市

1 業務名

苫小牧市企業インターンシップ受入支援事業企画運営業務

2 審査、評価及び選定の方法

(1) 選定委員会の設置

企画提案書の審査、評価及び選定は、苫小牧市企業インターンシップ受入支援事業企画運営業務受託候補者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）を設置し、選定委員 5 名の採点により行う。

(2) 審査の流れ

審査は、以下の手順で行う。

審査手順	実施者	審査内容
1. 参加資格審査	事務局	参加資格の有無を確認
2. 書類審査（※）	選定委員会	提案書を基に審査（採点）
3. プレゼンテーション審査（ヒアリング）	選定委員会	提案内容の事業者プレゼンテーション及び質疑応答（採点）
4. 採点結果の集計	事務局	プレゼンテーション審査の採点結果を集計
5. 受託候補者の特定	選定委員会	採点結果

※参加事業者が 4 者以上の場合のみ書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の対象事業者を 3 者選定する。参加事業者が 3 者以下の場合は、書類審査は実施せず、プレゼンテーション審査のみ実施とする。

3 書類審査について

- ア 書類審査は、本プロポーザルへの参加事業者が 4 者以上の場合に実施するものとし、参加資格確認通知の送付時（令和 8 年 2 月 4 日）に書類審査の有無を併せて通知する。
- イ 提案書（企画提案書・事業費経費参考内訳書）の記載内容を選定委員が採点し、採点結果の上位 3 者をプレゼンテーション審査の対象とする。
- ウ 書類審査の結果は、令和 8 年 2 月 18 日（水）に通知するものとする。
- エ 評価項目及び配点は、次ページのとおりとする。

【書類審査の評価項目及び配点】

- 選定委員 5 名の採点結果の合計（30 点×5=150 点満点）で審査を行う。

評価項目	評価内容	配点
1. 会社概要 (所在地・従業員数、事業内容等)	会社の規模や事業内容から、契約期間において安定した業務の実施が可能か	5
2. 業務を実施する運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 従業員数の規模や組織体制から、本事業の実施に対し十分な人員を確保することが可能か 支店や営業所の所在地等の状況から、本業務に対し迅速な対応や連絡調整が可能か 	5
3. 業務スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 業務量を理解し、適切で実現可能な工程を組んでいるか。 セミナー等のプログラムの開催時期や周知のタイミングは効果的なスケジュールとなっているか 	5
4. 業務実績	<ul style="list-style-type: none"> 過去 3 年以内 (R5～R7 年度) に企業のインターンシップ受入に関する支援実績があるか。 過去 3 年以内 (R5～R7 年度) に新卒採用支援等、官公庁からの類似事業の受託実績があるか。 	5
5. 提案書の記載内容	<ul style="list-style-type: none"> 「提案書作成要領」に定める提案項目が漏れなく記載されているか 苫小牧市への提案として適切な内容となっているか。創意工夫のある魅力的な提案内容か 	10
合計		30

4 プレゼンテーション審査（ヒアリング）について

- ア ヒアリングは、令和 8 年 3 月 13 日（金）に、苦小牧市役所 7 階会議室にて非公開で行うものとし、開始時間は別途通知する。
- イ ヒアリングは、1 者ずつの呼び込み方式とし、1 者の持ち時間は 40 分以内とする（提案書説明 25 分、質疑応答 15 分を予定）。
- ウ ヒアリングの内容は、提出のあった企画提案書に基づくものとし、資料の追加提出や変更は認めない。
- エ ヒアリングにおいては、企画提案書では説明が難しい点やアピールしたい点について行うこと。この説明においては、プロジェクター及びスクリーンを使用することができる。またプロジェクター及びスクリーンは当市で用意可能だが、その際はあらかじめ担当部署に連絡すること。パソコン等その他機材については提案者が用意すること。
- オ ヒアリングの説明者は補助者を含めて 2 名までとする。
- カ 欠席をした場合は、企画提案書の審査、評価及び選定から除外する。
- キ 選定委員 5 名が評価項目に沿って採点を行い、合計点が最も高い提案者を受託候補者とする
- ク 評価項目及び配点は、次ページのとおりとする。

5 審査結果通知

苦小牧市企業インターンシップ受入支援事業企画運営業務に関する公募型プロポーザル実施要領「15 結果の通知・公表」のとおりとする。

【評価項目及び配点】

評価項目	評価基準
業務遂行能力に関する項目【配点：10点】	
1 運営体制・実施スケジュール	
(1) 会社概要 (所在地・従業員数、事業内容等)	会社の規模や事業内容から、契約期間において安定した業務の実施が可能か
(2) 業務を実施する運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 従業員数の規模や組織体制から、本事業の実施に対し十分な人員を確保することが可能か 支店や営業所の所在地等の状況から、本業務に対し迅速な対応や連絡調整が可能か
(3) 業務スケジュール	業務量を理解し、適切で実現可能な工程を組んでいるか。また、セミナー等のプログラムの開催時期や周知時期は効果的なスケジュールとなっているか。
2 類似事業の実績	
(1) インターンシップ支援実績	過去3年以内(R5～R7年度)に企業のインターンシップ受入に関する支援実績があるか。
(2) 自治体事業の受託実績	過去3年以内(R5～R7年度)に新卒採用支援等、官公庁からの類似事業の受託実績があるか。
企画提案に関する事項【配点：90点】	
3 提案内容	
(1) 事業コンセプト・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の目的や狙いを十分理解し、整合性のとれたコンセプトとなっているか 明確かつ独自性のあるコンセプトとなっているか。
(2) 支援対象企業の募集・選定方法	<ul style="list-style-type: none"> 企業募集・選定の具体的な手法が示されているか。 支援企業数の設定は適切か。
(3) インターンシップへの理解促進のための施策	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業のインターンシップへの理解度や実施意欲を向上させる効果的な施策が提案されているか。 開催時期や回数、内容など具体的な内容が提案されているか。
(4) インターンシップ受入体制整備のための施策	<ul style="list-style-type: none"> 支援企業のインターンシップ受入実績や取組の段階に応じた必要な支援策が提案されているか。 企業へのサポート体制は十分か。
(5) 市内企業と学生のマッチングのための施策	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ受入れにつながる効果的なマッチング施策が提案されているか。 ターゲット(学生や大学)は明確となっているか。 マッチングに活用する媒体は具体的に提案されているか。
(6) 独自提案	市内企業のインターンシップ受入れや新卒採用の実現に資する有益な独自提案があるか。
4 見積額の経費内訳の説明	具体性があり適正な価格設定か。
5 プレゼンテーション・質疑応答	事業受託への熱意が感じられるか、また、質問に対し的確な説明がなされているか。